

登録コード	UAH02600	開講年度	2026				
授業題目	社会政策演習			担当教員	井上 信宏		
				副担当			
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・4時限		
				授業形態	演習		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】		
	2 4 UAカリ・総人社・経済学						
	【研究科共通】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組み、問題解決に不可欠な統合的なシナリオを提示する提案力を有する。				研究方法として社会調査の手法を身につけて、具体的な地域課題を発掘し、当該地域の実情に即した政策提言を行うことができるようになる。		
	2 6 UAカリ・総人社・経済学, 2 5 UAカリ・総人社・経済学, 2 4 UAカリ・総人社・経済学						
	【経済学】経済学分野の高度で先端的な知識と技能を有する。				研究方法として社会調査の手法を身につけて、具体的な地域課題を発掘し、当該地域の実情に即した政策提言を行うことができるようになる。		
	【経済学】専門知識に基づく論理的な思考の下に、地域・社会・経済について、必要な量的・質的データを採取する能力及び、採取したデータを用いた実証分析や社会調査を行う能力を有する。その分析能力を、地域・社会・経済の課題解決に多面的に展開できる応用力を有する。				研究方法として社会調査の手法を身につけて、具体的な地域課題を発掘し、当該地域の実情に即した政策提言を行うことができるようになる。		
	【経済学】専門知識に基づく論理的思考とデータ分析に裏打ちされた根拠に基づき、地域・社会・経済の課題に対し、解決策を自ら創りだし、解決へのシナリオをデザインする能力を有し、実情に即した政策提言を行うことができる能力を有する。				研究方法として社会調査の手法を身につけて、具体的な地域課題を発掘し、当該地域の実情に即した政策提言を行うことができるようになる。		
(2)授業の概要	この授業は「社会政策演習」です。社会政策とは、個人の力だけでは解決ができない社会問題を解決するための公共政策であり、社会保障、社会福祉、労働問題、生活支援、地域づくり、健康づくりなどの課題群から成り立っています。 この授業の受講生は、社会政策が対象とする課題群から各自で、調査課題を選定し、課題の深掘りを行い（事前研究）、調査仮説を構築し、調査対象への社会調査を実施し、科学的な分析を経て、報告書にまとめるまでのプロセスを、演習形式で身につけることになります。 遠隔授業を実施する際は、Zoomを使用したリアルタイムオンライン授業とします。ZoomミーティングのURLは、eALPSまたはメールにて事前にお知らせします。						
(3)授業計画	第1回：政策科学における社会調査の意義 第2回：調査課題の選定（1）：社会調査の方法について【講義】 第3回：調査課題の選定（2）：受講生による調査課題の報告と議論【演習】 第4回：事前研究（1）：事前研究の進め方について【講義】 第5回：事前研究（2）：受講生による事前研究の報告と議論【演習】 第6回：調査対象の選定と調査仮説の構築（1）：調査仮説の構築方法について【講義】 第7回：調査対象の選定と調査仮説の構築（2）：受講生による調査対象と調査仮説の報告と議論【演習】 第8回：社会調査（1）：受講生による社会調査の報告と議論【演習】 第9回：社会調査（2）：受講生による社会調査の報告と議論【演習】 第10回：社会調査（3）：受講生による社会調査の報告と議論【演習】 第11回：調査結果の分析（1）：調査結果の分析について【講義】 第12回：調査結果の分析（2）：受講生による分析結果の報告と議論【演習】 第13回：報告書の作成（1）：報告書の作成について【講義】 第14回：報告書の作成（2）：受講生による報告書の報告と議論【演習】 期末試験は実施しない						
(4)成績評価の方法	授業への貢献，社会調査の取り組み，課題および報告書の内容をふまえて，総合的に評価します。						
(5)成績評価の基準	選定課題が社会問題として適切である。選定課題の事前調査が過不足なく実施できている。調査仮説が整合的に構築できている。調査の分析が科学的批判に耐えうる水準にある。報告書が論理的に記述されている。以上の5つの評価基準に基づいて成績評価を行います。 からの全てを達成し、かつ教員を説得する水準にあれば「卓越している」。からの全てを達成していれば「かなり上にある」。からの4項目が達成できていれば「やや上にある」。からの3項目が達成できていれば「水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	座学では事前に指定されたリーディングを読み、各自で論点を用意して授業に臨むことになります。社会調査では、課題の選定，事前調査，調査対象の選定と調査仮説の構築，調査結果の分析，報告書の作成にいたる全ての段階で，受講生の積極的な事前事後学習が求められています。						
(7)履修上の注意	この授業では，それぞれの受講生に社会調査を実施することが求められています。社会調査の実施は，この授業時間外で行うことになります。社会調査の実施時間の確保，費用負担は，受講生の責任となります。						
(8)質問，相談への対応	授業中に適宜質問を受け付けます。 個別の質問については，メール（inoue@shinshu-u.ac.jp）で受け付けます。						
【教科書】	特に定めない						
【参考書】	参考書は授業時間中に指示する。						